

LED照明 販売に参入



ねじ込み式のLED照明を手にする吉田専務

広島日本オートレスキュー

水銀灯の代替需要見込む

車両救援サービスの日本オートレスキュー（広島市西区）は、発光ダイオード（LED）照明の販売を始めた。省エネの観点から工場や倉庫で水銀灯の代替品として設置する需要が高まることを見据え、新分野に参入した。LED照明は中国地方では珍しい大型のねじ込み式で、2月に販売を始めた。工場や倉庫の天井にある水銀灯のソケットにそのまま取り付けられるため、設置工事費が安く済む。1日12時間使った場合で約7年半持ち、初期投資を約4年で回収できるという。LED照明は横浜市の物流会社が台湾で委託生産しており、明るさが特長という。日本

オートレスキューは中国と九州での販売を担う。400Wが11万4450円、700Wが15万3930円。初年度の販売目標は3千個。

（樋口浩二）

吉田隆起専務は「体育館などの公共施設でも水銀灯からの切り替えが進むはず。事業の柱の一つにしたい」と意気込む。

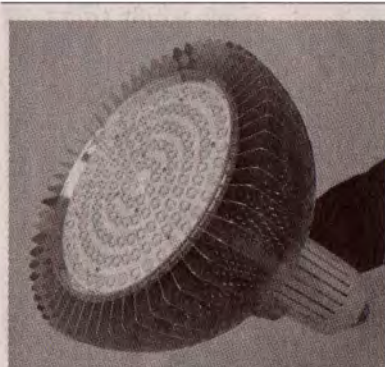
法人車両救援サービスの日本オートレスキュー（本社・広島市西区草津東1-1-13、社長・森田正孝氏）

工場・倉庫用LED照明

鉄鋼業界向けに拡販

は、取り付け口部分に水銀灯に多いソケットタイプを採用したLED照明器具「写真」の販売に注力中。省エネの観点から、工場、倉庫の水銀灯からの代替を見込んでおり、鉄鋼関係会社などに向けて拡販する。すでに大阪の鋼管流通会社が導入を検討しており、自社倉庫で試験段階に入っている。

照度は水銀灯の700W相当となる1800lmの製品で1万6千円（全光束）。製品単体で重量は3・8kg。天井クレーン付き倉庫の高さ13mに設置した場合も、作業時に十分な明るさを確保できるという。導入先の物流企業では手元作業のミス軽減が実証されている。



横濱の物流会社が台湾企業で委託生産した新製品で、同社が主に

船井総研運営のインターネットサイト『エコロジ』へインタビュー記事が掲載されました。実際に導入いただいた企業様の感想等、掲載されておりますので是非ご覧下さい。

<http://www.ecologi.net/interview/advanced/s-vol7.html>

エコ・省エネ・長寿命のLED照明

事業者参入相次ぎ本格化

従来一般的だった、蛍光灯や白熱灯に比べ、消費電力が少なく、寿命が長く、廃棄するときには有害な水銀が出ないなど環境にやさしく、省エネ・長寿命のLED照明が、今後家庭や事業所で普及していくことが予想されるが、蛍光灯やソケットの水銀灯タイプ、防湿、育苗対応など各種製品が開発され、それを扱う事業者が出てきた。

まず、LEDの水銀灯タイプを扱うのは、日本オートレスキユー(株)(西区草津東一丁目一三三)。同社は全国の法人を対象に会員制の法人車輛救援サービスを主業務としているが、一

空調&冷凍冷蔵設備

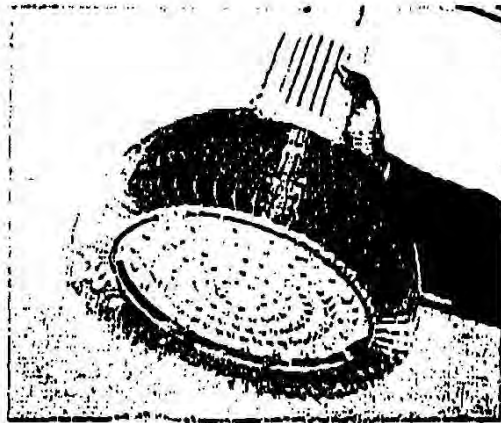
ISO9001
認定取得

旭調温工業株式会社

TEL.082-237-0201

般用ほかこれまでなかったソケット型(ねじ込み式)の水銀灯タイプのLED照明「写真II」を中心に関西以西の西日本で扱うことにした。

水銀灯のソケ



ソケットは吊り下げられる重さに制

限があり、LED製品はその重さが課題とされてきたが、軽量化を実現。例えば工場や体育館など大型施設での水銀灯の交換は、高所で大変な作業を余儀なくされてきたが長寿命のLEDでは、その交換の頻度が少なくなり、また水銀灯に比べ電気をつけた瞬間から明るくなるという特徴もあり、その利点を訴え、営業展開していく。

「明るさも価格も他社従来品よりも優れている」(吉田隆起専務)という。

一般屋内用蛍光灯型LED

ランプをはじめ、マイナス25℃～60℃の冷氷・冷蔵コンテナ・ショーケースにも対応した製品「写真II」を扱うのは、(株)商港エンジニアリング広島営業所(安芸郡坂町北新地四丁目四一三三)。同社はコンテナの販売を主業務にしているが約三年前からLED



照明を扱い始めた。LEDは熱量が少なく、紫外線を出さないため、空調面や商品の保存面でも良いとされ、そうしたメリットを打ち出して普及を図る。LEDの青色発光や波長は、植物育成の光合成や発芽にも良いので、その製品にも力を入れていく考えだ。そのほか看板用などイルミネーションも扱う。広島営業所長の清水利則氏は「うちが高品質で、納得のいかないものは扱いません。卸を通さずメーカーから直に扱うので、安価で販売できる」と話している。

友と知識を得る

TSS文化大学が募集

平成八年の設立で、開学十五

年目を迎えるTSS文化大学では、五十五歳以上の高年齢者を対象に生徒募集を行っている。

この大学は、原則毎週火曜日に午前は、本職の大学教授をはじめとした各界で活躍する講師を招いての一般教養と、午後は健康体操やパソコン、英会話、俳画、陶芸、書道などカルチャー分野が選んで楽しめるという内容。同好会も郷土研究や旅行、写真、ゴルフなど多彩に展開され、友と繋がりを得て大変喜ばれているよう。基本的に四年制で、入学式や卒業式(修了式)もある。学費は年間七万二千円(税抜き・実習など実費が要るものもある)。

来年度採用 マツダ
マツダ増員 (株)は、二〇一一年

度の定期採用人数を次の通り計画している。

- ▽技能系(高校) 〓三百人▽
- 医務系(大学・短大・専門・高校) 〓二十五人▽
- 技術系(大学・短大・専門・高校) 〓二百人▽
- 事務系(大学院・大学・短大・専門) 〓二十五人。

昨年の計三百六十一人より約百人多い四百六十人で、特に技能系を増員した。